



第3回通常総代会開催

農業功労賞授賞式

個人情報保護法に関する役職員研修会開催

明日を担う

トピックス

理事会だより

<http://www.ja-asahikawa.or.jp>

農作業事故防止について

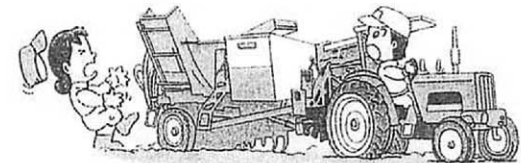
周辺の雪も消え、水田の耕起作業等大型農機具を使った作業が開始される時期となって参りました。今年は、融雪が遅れ圃場の乾きも余り進んでいないことから、耕起・代掻等の作業期間が短くなることも予想されます。当JA地区内においては、幸いにも大事故にはいたっていませんが、農作業事故の報告を受けております。また、本年も道内においてトラクターの横転等の新聞報道もされており、車両を使う機会も増えてくると思われます。つきましては、組合員の皆さんに農作業の事故防止等努めていただきたく存じますので、よろしくお願い申し上げます。

家族ぐるみの安全管理

「農作業事故は、いつ起きるかわからない」ということを常に意識し、万が一のために作業員以外でも機械のエンジンを停止できるようにするなど、家族ぐるみで安全管理に取り組みましょう。また、小さなお子さんのいる家庭では、車庫入れや発進時の車両の前後左右の安全確認等を十分に行なう等、農作業だけでなく自家用車での運転においても、交通安全や安全運転に心がけましょう。

ハーベスター類

- 作業中に回転部に手を挟む、衣服を巻き込まれる。
- 乗降時・作業中に足を滑らせ落下。
- 詰まり除去中に回転部に手を挟む。
- 後方・旋回時の補助者の確認もれによるひかれ。



トラック

- 点検整備中にダンプの荷台が落ち、挟まれる。
- 作業中に荷台から足を滑らせ落下。
- 「あおり」で手を挟む、足に落とす。



コンバイン

- 点検整備・詰まり除去中に回転部に手を挟む。
- 降車時にバランスを崩し転倒。
- 方向転換時などに補助者を負傷。



高所転落

- 屋根・梯子・脚立・牧草ロール等高所からの転落。



トラクター

- 走行中にハンドル操作を誤り転倒・転落し、下敷き・ひかれる。
- 作業機の着脱時などに手を挟む、ぶつける、足に落とす。
- 乗降時に足を滑らせ落下。



ショベル・リフト類

- 周りの確認もれによるひかれ。
- 積み込み・積み上げ作業中の転倒・下敷き・挟まれる。
- 降車時に足を滑らせ転倒。



牛

- 搾乳作業中に牛に蹴られる、足を踏まれる。
- 牛の移動中に牛が暴れ挟まれる、突かれる。



皆さまの大切な貯金をお守りするために。

平成17年5月2日(月)から

ATM(1口座)での「お引き出し」「お振込み」「お振替え」は1日あたり合計100万円までとなります。

- キャッシュカードでのお引き出しが対象となります。(カードローンは除きます)
- お取引限度額を超える場合は、JA窓口にて通帳とお届け印によるお取り扱いとなります。

なにとぞご理解を賜りますようお願いいたします。詳しくはJA窓口までお問い合わせ下さい。

キャッシュカードを安全にご利用いただくために

- キャッシュカードの暗証番号の変更はJA窓口でうけたまわっています。
- 「生年月日」「電話番号」など、他人に推測されやすい番号をお使いの場合はすみやかに変更されることをお勧めします。
- 貴重品ボックスなどをご利用される際の暗証番号は、キャッシュカードの暗証番号とは異なる番号にされるようお勧めします。
- キャッシュカードも通帳や印鑑と同様大切なものであり、厳重な管理をお願いします。

ATMのお取引限度額を
1日100万円
あたり
とさせていただきます。

JAバンク
<http://www.ja-chokin.or.jp>

目次

第3回 通常総代会開催 01

農業功労賞授賞式 02

個人情報保護法に関する
役職員研修会開催 02

明日を担う 03

- 質問事項
- 1 生年月日
 - 2 家族構成
 - 3 趣味
 - 4 農業開始時期
 - 5 現在の農業経営スタイル
 - 6 目標(理想)とする経営スタイル
 - 7 農業に対する抱負
 - 8 農協に対する希望や要望
 - 9 独身者は、理想の女性像

トピックス 09

理事会だより 14

表紙写真/
永山地区のほうれん草の収穫

第3回通常総代会開催される

4月26日午前10時より、旭川グランドホテルにて第3回通常総代会を開催した。総代会では、本人出席297名、代理出席16名、書面議決112名、計425名が出席。開会宣言、JA綱領朗唱の後、山本組合長より1年間の農業情勢や事業の取り組みについての挨拶が行われた。その後、吉永克己旭川市農政部長、増田公昭ホクレン農業協同組合連合会旭川支所長から祝辞

を頂き、千葉明さん(旭正)と白鳥隆志さん(永山)が議長に選出されて議事へと進み、審議の結果、全議案を原案通りに可決し、午後2時5分に閉会した。

また、総代会に先立ち、基幹支所運営委員会、地区別組合員懇談会を開催。平成16年度の事業報告、平成17年度の事業計画を説明し、事業に対する意見、要望等をいただいた。



▲▼第3回通常総代会の風景



岸本(江丹別)さん、 福島(旭正)さんが 旭川市農業功労賞を受賞

江丹別地区の岸本康雄さんと旭正地区の福島俊雄さんのお二人が、2004年度の旭川市農業功労賞を受賞した。

旭川市農業功労賞は、旭川市の農業の振興と発展に貢献した個人や団体をたたえるもので、3月10日に旭川市役所で表彰式が行われ、菅原功一市長からお二人に賞状と記念品が手渡された。

岸本さんは、研究員や新規就農者などの受入指導、地域の和牛繁殖、肥育生産地の確立などの畜産振興に努めるとともに、そばの付加価値を高めるなど、江丹別地区の発展に尽力した功績が認められたもの。

福島さんは、野菜の新品種や新技術の積極的導入と普及推進に努める一方で、現在の旭川青果物生産出荷協議会の前身組織の副会長を務め、地域を越えた組織活動に尽力

するなど、旭川野菜の銘柄確立に対する功績が認められた。

役職員研修に 熱心に取り組む 個人情報保護法全面施行

4月1日、個人情報保護法案が全面施行された。この法律は、個人情報の適正な利用と安全管理を義務付けるもので、以前は国や自治体に限り施行されていたものが、このたび5,000件以上の個人情報を持つ企業や団体も対象となった。JAあさひかわにおいても、この法律に対応すべく、3月26日、本所3階大会議室において役職員参加による職員研修会を実施した。

業務の職員を除く約200名が参加した研修会では、北海道農業協同組合学校より太田勝美教務部長、JA北海道中央会より中島清浩考査役を講師として招き、「合併してあなたはどうか変わったか」、「コンプライアンス、不祥事対応

個人情報保護法について」の議題で研修が行われ、知識の習得と今後の対応についての講師の話に、参加者は熱心に耳を傾けていた。

また、4月4日から20日にかけては、職員のさらなる資質の向上を図るために、本所、5基幹支所において、全職員を対象としたコンプライアンス・マニュアルの読み合わせ研修会を実施。コンプライアンス(法令遵守)について再確認するとともに、今後、職員としてどうあるべきかを学んだ。

旭川市
農業功労賞授賞式



個人情報保護法に関する
役職員研修会



有機栽培にも取り組んで高品質の「売れる米づくり」を目指す。

旭正地区
石坂 寿浩さん

- 1 昭和45年11月6日
- 2 父、母、妻、子供1人
- 3 バレーボール・ゴルフ
- 4 平成13年から
- 5 総面積47.8ha 水稲36.3ha 大豆8.3ha 蕎麦2.3ha
緑肥・牧草0.4ha その他0.5ha
- 6 既存施設・機械をフル活用しての規模拡大を目標とし、有機栽培などにも取り組んで良質米生産・売れる米づくりを目指したい。
- 7 依然、厳しい状況の続く中、シーズンを通して家族全員が健康で明るく、「安全・安心」をモットーに種蒔き・米・畑作物を作り続けていきたい!
- 8 米価下落で生産コスト割れしている現状を、生産者、職員ともども柔軟な発想と行動力を持って、一日も早く「JAあさひかわブランド米」を作り、多くの人にPRして少しでも高く販売して欲しい!そのためにも、生産者・職員一人一人のスキルアップが必要だと思う。



消費者から“旭川産”を選んでくれる良い商品を生産したいですね。

永山地区
笠井 好晃さん

- 1 昭和49年9月3日
- 2 父、母、祖母、柴犬
- 3 旅行、映画鑑賞、吉宗
- 4 平成10年4月1日から
- 5 水稲・麦・大豆・野菜・花卉
- 6 現在の経営スタイルを維持しながら、早く自分の経営スタイルを見つけ出すこと。また、インターネットを活用して、経営に役立てたい。
- 7 稲・畑作では輪作体系を確立し、収量・品質の安定を図りたい。米価下落の中、厳しい状況ではあるが、消費者が旭川産を選んで買ってもらえるよう、良い商品を生産していきたい。
- 8 地産地消の観点から、JAあさひかわ産の商品をもっと地元にもPRしてほしい。
- 9 福原 愛



基本政策を徹底し、自立経営が目標。家族で夢の持てる農業へ。

神居地区
松浦 智さん

- 1 昭和38年2月27日
- 2 父、母、祖母
- 3 機械作業、野球観戦(巨人、日ハムのファン)
- 4 昭和55年ごろから
- 5 父母とともに、水稲と転作経営
- 6 家族経営で水稲単作、規模拡大。家族で夢の持てる農業。
- 7 今後も、良質で安全・安心な米づくりを目指していきたい。また、今後、農業の基本政策に良い方向性が見えれば農地拡大をして、自立経営を目標にしたい。
- 8 ライスターミナル利用開始の時に営農指導担当職員が、今後の米に対する考え方を組合員一人一人に理解を求めて100%ターミナル利用に繋がった。この力を、これからもさらに進む高齢化への対策に向けて努力してほしい。
- 9 農業経験がなくても、農業に理解を示してくれる人。



もっといろいろな作物が作れる大規模経営に夢。

北野地区
東出 良範さん

- 1 昭和53年4月18日
- 2 父、母、姉、妹
- 3 パチンコ・インターネット
- 4 平成9年4月から
- 5 きゅうり・トマト・ゴーヤ・ピーマンなどの野菜専業。
- 6 現在の経営スタイルのままでいいのですが、もう少しいろいろな作物を作れる大規模経営を目指したい。
- 7 今の日本農業は、高齢化により担い手が少ない状況になってきていますので、これからの農業を背負う者として頑張っていきたい。
- 8 いろいろな人にもっと農業に関心をもっていただけるようアピールしてほしい。
- 9 基本的に来る者拒まずですが、農業に興味のある人がよい。

旭川米生産流通協議会
高品質米生産者表彰式



高品質米生産者を表彰
旭川米生産流通協議会

旭川米生産流通協議会は、3月7日、平成16年度高品質米生産者の表彰式を開いた。整粒歩合70%以上、タンパク含量6.8%以下の「ほしのゆめ」と「きり397」の高品質生産者をたたえるもので、出荷数量部門と全体に占める高品質米の比率で選ぶ特別賞の2つがある。

当JAの受賞者は次のとおり。（敬称略）

〈優秀賞〉寺崎光一（旭川中央、岩井敬治（旭川中央、増茂武神居）、中野忠一（神居）、本合一博（北野）、川合篤志（北野）、矢部茂弘（旭正）、高橋一政（旭正）、佐藤則夫（永山）、荒井泰一（永山）

〈特別賞〉湯浅満和（旭川中央、有木恵一（神居）、前山喜一（北野）、品川淳（旭正）、梅津良一（永山）

2班体制で福岡、東京へ
平成17年度米拡販推進展開

平成17年度産米の拡販推進について、次のとおり第1班、第2班の推進活動が終了した。

第1班 3月15日～16日

〈訪問先〉福岡市エフコープ ライスセンター（参加者）大原理事、笠井理事、川合営農販売部長

平成17年度産米の減農薬米（11回成分以内）の取り組み状況と、上川RT（ライスターミナル）の利用予定数量の状況を説明した。エフコープからは、減農薬の「きり397」の年間を通して味にふれがないうものが欲しいとの要望が出された。当JAとしては、「17年度産米は統一した基準で全地区で取り組みを開始しており、十分な供給体制にある」ことを説明し理解を求めた。

また、ホクレン福岡支店からは、「ヒノヒカリが台頭しており、行政を含めた地産地消の啓蒙普及が活発で厳しい状況におかれている。今後は、品質の高位平準化、品質管理のレベルアップ、トレーサビリティの徹底、さらに、流通段階に対する提案力が求められる」との指摘を受けた。今回の、全地区でのクリーン米への取り組み、さらにRT利用予定数量を提案しながら販売に努めていただくようお願いをしてきた。

第2班 3月16日～17日

〈訪問先〉ホクレン東京支店（参加者）長勢常務、田中理事、大槻センター長

平成17年度産米のクリーン米（12回成分以内）の取り組み状況と、上川RTの利用予定数量、さらに「あやひめ」の作付予定状況を説明し、「あやひめ」＋「ななつぼし」の産地指定を含めて、推進をお願いしてきた。

東京支店からは、「げんきぼし」（「ななつぼし」90%＋「あやひめ」10%）の関東圏での評価が高いこと、一方、16年度産の関東の作況が107と大豊作で、旧計画外米が大量に流失している、未検物で11,000円と道産米と競合をしている現状に加え、道府米の売却などもあって、道産米が厳しい状況におかれているとの説明があった。

平成17年度産米に関して、当JAの全地区でのクリーン米の取り組みについて、生協などにアピールをし、販売拡大に努めていきたい旨の説明を受けた。



左：福岡市エフコープ
ライスセンター
右：ホクレン東京支店

食べる＝健康といわれる
食づくりに燃える。



旭川中央地区
岩井 敬樹さん

- 1 昭和44年3月23日
- 2 父、母
- 3 アウトドア（冬期限定！）
- 4 平成元年から
- 5 水稻の単作経営
- 6 消費者との間に信頼関係の築ける形。
- 7 食べる＝健康といわれるような農業にしたい。
- 8 これからは、農業者の高齢化に伴い、担い手が重要になるが、根本的に農業者人口は減少傾向にある。これからは、新規就農者支援プログラム（農地、農業施設のリースなど）を、考えてみては…。
- 9 タバコを吸わず、農業に興味があり、農産物を「美味しい」とってくれるおしゃべりな人。後は…。

JA旅行センターでは国内外
さまざまな旅行を取り扱っております
1枚のキップからお届け致します。

国内旅行	海外旅行
■添乗員付きの募集ツアー ■グループ旅行 ■全国の旅館・ホテルの手配 ■ANA, JAL, AIRDOなど航空券の手配 ■JRの手配 ■JALツアー、ANAスカイホリデー、JRツインクルなど各種	■添乗員付きの募集ツアー ■グループ旅行 ■海外航空券および海外ホテルなどの手配 ■ジャルパック、ANAハローツアーなど各種

旅行センター（豊岡支所内）は
JAあさひかわの旅行事業部門です。
ご注文は、各基幹支所でも承っております。
お問い合わせは
31-3188 豊岡支所

JAあさひかわ青年部
第3回定期総会



事業報告では、統合から3年かかったが、活動の内容も支所活動主体から本所活動主体への移行が進んでいることが報告された。

事業計画では、活動の一本化に加え、食の安全・安心の確保や食育に関する取り組み、

総会では、昨年各地域において策定された水田農業

新部長に塚原さんを選任 第3回青年部定期総会開催

2月22日に本所3階大会議室において、青年部（部員69名）の、3回目の定期総会が開催された。総会には、46名の部員が参加した。本谷部長の開会挨拶の後、山本組合長から祝辞をいただき、旭川中央地区の岩井敬樹さんを議長に選出して議事に入った。

農業PR活動にも積極的に取り組むなど、消費者との交流を図り、JAあさひかわ青年部の基盤を作り上げることが提案され承認された。

また、役員改選では、次の方々が新役員に選任された。

△部長 塚原正和（神居）
△副部長 大西勇治（旭川中央）、千葉直弘（旭正）、水島友和（北野）△会計 本谷義孝（北野）△書記 石坂寿浩（旭正）△監事 西田典文（旭川中央）、浅田敏久（神居）

第3回定期総会を開催 農業生産組織連絡協議会

農業生産組織連絡協議会（31組織）は、2月24日にトーヨーホテルにおいて、会員など40名が出席し、第3回定期総会を開催した。大澤会長の挨拶の後、山本組合長から祝辞をいただき、旭正地区の笠井寿敏さんを議長に選出し議事に入った。

総会では、昨年各地域において策定された水田農業



農業生産組織連絡協議会
第3回定期総会

JAあさひかわ女性部
第2回総会



JAあさひかわ女性部 総会開かれる

3月3日（木）、春の陽気のなか、山本組合長、川合営農販売部長、各基幹支所長の出席のもと、JAあさひかわ女性部第2回総会が本所3階大会議室で開催された。そろそろ農作業の始まる時期でもあり、桃の節句も関係していたのか、出席は、当初予定より若干少ない役員・部員代表90名となった。

女性部総領・5原則朗唱の後、石橋部長の挨拶、山本組合長の祝辞を頂き、議長に青木孝子さん（旭川中央）、高橋ミサ子さん（神居）の2名を選出して議事に入り、事業報告および事業計画、予算の承認決定がなされた。役員改選では石橋部長が再選された。

午後からは研修会としてビデオプロジェクトと160インチの特大スクリーンを使って、認知症老人とその家族をテーマにした「ホーム・スイートホーム」のビデオ上映会を開催した。「高齢者介護」という身近な問題でもあるので、部員はもちろん、事務局も真剣に、時には笑いながら映画を楽しんだ。感動のラストを迎え、映画が終了すると大きな拍手が起った。なお、都合により出席出来なかった方のために、支所への貸し出しも考えているとのこと。

JAあさひかわ女性部新役員（敬称略）
△部長 石橋暈子（旭川中央）
△副部長 岩崎和子（旭正）、田中弘子（神居）、荒永百合子（北野）、板橋和子（永山）
△会計 波能美智子（旭川中央）△理事 土田八五子（神居）、横倉弘子（永山）△監事 石坂静江（旭正）、澤田玲子（北野）

「売れる米づくり」の レベルアップを 稲作連絡協議会の総会開催

3月18日、稲作連絡協議会では第2回定期総会を本所3階大会議室で開催した。

増茂会長挨拶の後、山本組合長より来賓挨拶があり、九

里（北野）さんを議長に選出し議事に入った。平成16年度事業報告ならびに平成17年度事業計画など各議案とも原案どおり可決した。今年は、「売れる米づくり」への更なるレベルアップを掲げ、全地区でクリーン米（12回成分以内）への取り組みにいつそう努力することを確認した。



稲作連絡協議会
第2回定期総会

北野支所稲作協議会

第2回定期総会並びに生産者研修会開催

平成17年2月15日、北野支所稲作協議会(会員99名)の第2回定期総会および生産者研修会がJAあさひかわ北野支所大会議室で開催された。前田知会長から、平成16年度の支所協議会での減農薬への取り組みと、上川ライスターミナル利用による産地指定と高品質米生産への生産者一体となった

取り組みにお礼の言葉があった。まず、生産者研修として「エコホープ使用農家の感想」を8区の膳法幸さんから、「エコホープの使用法について」をクミアイ化学工業から、「クリーン米防除をすすめるにあたって」を普及センター小泉普及員からそれぞれ講演をいただいた。その後、第2回定期総会を開催

し、前田会長の挨拶のあと、来賓の中井副組合長の挨拶をいただいた。総会では、聖和の若栗克美さんを議長に選出し、議事に入り、平成16年度事業報告・収支決算、平成17年度事業計画・収支予算、規約の一部改定を原案通り決定し、平成17年度農薬節減米(11・12回成分)への取り組みを確認した。各農事組合・町内会代表者の互選により次の通り17年度の役員を決定し、総会を終了した。

▼研修、総会に充実の1日



(敬称略)

△会長 伊林正(1区) △副会長 九里勲(聖和)、薄網久彦(2区) △会計 山口光夫(3区) △監事 佐野修次(8区)、東出治(9区)

北野オペレーター軍団、出動間近か

北野オペレーター軍団が総会開く



▲出動間近の北野オペレーター軍団

北野オペレーター軍団では、3月15日午後6時30分から北野支所2階の和室で総会を開き、平成16年度の事業報告、収支決算、新年度予算などの各議案を原案どおり可決した。

総会では、作業機の

修理や新機械の導入などについて活発な意見が交された。作業機の修理では、現在、4台ある高畝管理機の修理が話題になった。平成11年に導入されてから働きづめで、心をこめた修理を確認しあった。新機械の導入では、除雪機1台の入れ替えの要望が出された。2台のうち1台が古くなり、十分なサービ

スが出来ないという悩みが聞かれた。改まった組織でない気楽さもあつて、普段の言葉で意見が飛び交った。

近年、転作強化が進む中、オペレーター軍団の出動する場面も多くなることが予想される。軍団が心をひとつにして各作業を円滑に進め、事故のない1年間になるよう確認しあった。

着色不良の一掃誓う

旭正フレコン部会定期総会

2月18日、旭正フレコン部会の定期総会が旭正支所2階の大会議室で開かれた。五十嵐基幹支所長の祝辞のあと、平成16年度事業経過報告及び平成17年度事業計画が承認され、その後役員改選が行われ、今年も荒川保さんが再選された。

17年度の重点課題も、700フレコンの全量で整粒80%以上の「売れる米づくり」を実現することにおかれた。全量、整粒80%の実現はなかなか難しいハードルで、平成16年度の場合、82・28%にとどまった。

祝辞の中で五十嵐基幹支所長は、「みなさんの努力には日頃から感謝している。今年こそ整粒80%のハードルを越えていたきたい」と述べられていたように、フレコン部会の平成

この結果を踏まえ、全員で「今年こそ栽培管理に十分に気を配り、着色不良を一掃しよう」と決意を新たにして総会を終えた。



▲全量整粒80%以上を誓い合う

福島さんの受賞に花そえる

旭川市農業功労賞祝賀会

平成17年3月10日、東旭川町忠別地区の福島俊雄さんが、旭川市農業功労賞を受賞、同月23日にJAあさひかわ本所3階大ホールで、授賞祝賀会が催された。

旭川市農業功労賞は、自らの創意工夫によって地域条件に適応した生産性に優れた農業経営を確立し、地域農家の先駆的役割を果たし、他の農業者の模範になっている人が選考の基

準で、福島さんの「経営近代化事業の推進」が認められた。福島さんは、昭和33年に就農し、水稲兼業経営を営んできたが、昭和45年からの米の生産調整が続くなか、昭和58年からアスパラガスを取り入れた複合経営を目指し、経営の近代化を実現させた。

▼福島さんの「経営近代化事業の推進」が認められた



祝賀会では、発起人から挨拶と授賞経過報告があり、続いて山本組合長と各関係機関よりお祝いの言葉をいただいた。祝賀会には、親族や友人知人、関係機関などで118名が集まり、福島さんの受賞とともに祝った。

最後に、株式会社キョウイチの西川常務による万歳三唱で閉会した。



▲日本館の足元から広がる立体スクリーンの映像に驚いた

北部さつき年金友の会(浅田精会長)は、去る4月13日から16日までの日程で道外旅行を楽しんだ。今年

は、名古屋で「愛知万国博覧会(愛地球博)」が開かれたことから、地球博を目玉の一つに加えた京都・愛知方面への観桜会となり、参

加者は16名であった。関西空港に降りたち、車窓から桜を眺めながら和歌山の高野山に向かう。1日目は、総本山金剛峯寺を拝観して宿坊の金剛三昧院に泊まる。翌日は法隆寺、東大寺を経て奈良公園を散策して京都に入った。3日目は、嵐山を自由散策したあと金閣寺、清水寺を訪れ春の京都を満喫した。京都で印象に残ったの

桜花の春と愛・地球博を満喫 北部さつき友の会が京都、愛知に観桜の旅

は夜桜見物。北海道ではお目にかかれない満開のしだれ桜の園は圧巻だった。

今年も鹿さんに逢いました 神楽年金同友会 温泉湯治で疲れ一掃

恒例の神楽年金同友会(森山茂会長、会員287名)の温泉湯治の旅が、3月7日から層雲峡の層雲峡観光ホテルで行われた。今回の参加者は、3泊組、5泊組を合わせて92名。「湯治」とあつて常連の会員も多く、久々の出会いになごやかに交歓する風景があちこちで演じ

る。踊り上手に歌上手、いずれも甲乙つけがたい芸達者の行列に拍手と笑い声が絶えない。顔を見せたエゾ鹿も浮かれ気分を思わせる温泉三昧の道行きであった。



▲なんといっても宴会が楽しみ



▲湯治を兼ねた20回目の節目の総会風景

今年からパークゴルフ部が誕生 永山年金友の会第20回定期総会開催

3月1日から3泊4日の日程で、永山年金友の会(喜多政夫会長、会員314名)は層雲峡温泉ホテル大雪において会員83名の出席のもと、第20回定期総会並びに温泉湯治を実施した。

総会では16年度決算と17年度予算案を原案通り決定し、親睦事業として今年より新たに懸案だった「パークゴルフ部」の活動を追加することが承認された。年金友の会の主な事業は、春の親睦旅行、ゲートボール部の会長旗争奪戦、湯治を兼ねた定期総会などが恒例だが、パークゴルフ部の活動が加わることで、いつもの活性化が期待される。温泉湯治では歌謡ショー、カラオケ、ゲートボール、ビンゴゲーム、輪投げゲーム、映画鑑賞と4日間の楽しい一時を過ごした。ゲートボールでは、偶然、同宿していたJ.A.びっぐの会の会員との交流の幕も見られた。なお、同友の会では事業の一つとして会員加入運動を展開中で、多くの会員を募っている。「是非、加入して下さい」とのPRも盛んである。

健康で元気な苗が育っています セルリー部会 今年3回目の播種作業

2月1日、ハウスの中はすでに春。セルリー部会(浅野貞夫部長・部会員5名)では、笠井好さんのハウス圃場で今年3回目の播種作業を行った。セルリーの種子は、他の野菜より一段と小さく、健康で元気な苗を育てるためには丁寧に均等に播く事が大切。1月に播いた1回

の苗(写真手前は、すでに緑々と順調に生育し、3月中旬に定植を終えており、6月初めには収穫が予定されている。永山では、25年前からセルリー栽培がはじめられ、今日では永山地区を代表する野菜の一つに成長しており、通年出荷され北海道でも屈指の産地となっ



▲今年3回目のセルリーの種蒔き

第1回理事会議案	第2回理事会議案	第3回理事会議案
平成17年2月25日(金)	平成17年3月4日(金)	平成17年3月25日(金)
協議事項 1 全国農業協同組合中央会の監査報告および改善を要する事項の回答について 2 規程類の制定及び一部改正について 3 自己査定に対する監事監査の結果について 4 自己査定監査結果に対する処理願末について 5 資産査定の結果について 6 税効果積立金の取崩しについて 7 平成16年度決算について 8 旭川協同総業㈱平成16年度決算について 9 大口貸付について 10 平成17年度営業時間について 11 第3回通常総代会について	協議事項 1 JA全国監査機構財務監査(期末)の結果について 2 役員選任実施要領について 3 平成16年度剰余金処分案について 4 農業・農協中期3ヵ年計画について 5 平成17年度計画の設定について 6 平成17年度米拡販推進について	協議事項 1 農業協同組合検査指摘事項改善・対応について 2 全国農業協同組合中央会の監査報告について 3 平成16年度決算監事監査の結果について 4 定款・規程類の制定及び一部改正について 5 第3回通常総代会の開催について 6 理事に対する資金の貸付について 7 平成17年度旭川市畜産経営維持資金の借り入れについて 8 役員賠償責任保険の継続加入と役員負担について
報告事項 1 有価証券の取得について 2 組合員の加入及び脱退の状況について 3 系統外預金と信託状況について 4 人事異動について 5 貯金者データ整備状況について 6 貯金保険事故等緊急時対応マニュアルの一部改正について 7 監事監査規程の整備と監事会規則について	報告事項 1 JAあさひかわ地区商系スタンドの価格状況について 2 17年産米に係る稲作所得基盤確保対策及び担い手経営安定対策の特例措置について 3 平成17年産米品種別作付計画及びクリーン米の取組み計画について 4 平成18年産米品種別作付計画について	報告事項 1 平成17年2月末事業実績(子会社含む)について 2 有価証券の取得について 3 系統外預金と信託状況について 4 職員の新規採用および異動について

職員人事			
■採用		よろしくお願いします	
4/1	正職員	小川 浩司	管理部総務課 試用期間
4/1	正職員	高橋 剛正	管理部総務課 試用期間
4/1	正職員	岩崎 康郎	神居営農センター営農販売課 試用期間
4/1	正職員	撫養 智明	神居金融支所貯金共済課 試用期間
4/1	正職員	島 睦子	旭正金融支所貯金共済課 試用期間
4/1	正職員	大門 未希	東光金融支所 試用期間
4/1	正職員	高山 奈津子	旭川中央金融支所貯金共済課共済担当 試用期間
4/1	正職員	秋沢 早苗	忠和金融支所 試用期間
■異動			
3/1	調査役	因幡 淳一郎	西神居購買事業所調査役兼西神居給油所調査役(神居営農センター購買課主査)
3/1	係	大坂 武志	神居営農センター購買課係(神居営農センター営農販売課係)
4/1	主査	菅原 邦子	豊岡金融支所融資相談課主査(豊岡金融支所貯金共済課共済担当主査)
4/1	係	佐藤 百恵	豊岡金融支所貯金共済課係(豊岡金融支所融資相談課係)
4/1	係	西垣 朋美	永山金融支所貯金共済課係(東光金融支所係)
4/1	係	林 友里恵	北野金融支所貯金共済課係(神居金融支所貯金共済課係)
4/1	調査役	白崎 仁浩	豊岡金融支所貯金共済課調査役(準職員 管理部総務課)
■退職		お世話になりました	
2/28	調査役	斉藤 清徳	北野営農センター調査役(旭川土地改良区出向)
2/28	調査役	石崎 敏明	西神居購買事業所調査役兼西神居給油所調査役
2/28	係	千田 しづか	北野金融支所貯金共済課係
2/28	準職員	荒永 さやか	春光台金融支所
3/31	係	北島 由佳	忠和金融支所係
3/31	準職員	川畑 良子	神楽金融支所
4/8	係	吉田 絵理香	旭正金融支所貯金共済課係

謹んで故人のご冥福を お祈り申し上げます。			
2/13	城 久作さん	中央地区睦	
2/15	玉越 くにゑさん	旭正地区旭正12	
2/17	岡田 ヨシエさん	永山地区14区むつみ	
3 / 5	八谷 勝郎さん	中央地区その他	
3/10	板谷 正男さん	中央地区旭神1	
3/30	鈴木 光男さん	永山地区8区1組	(ともに正組合員)

JAあさひかわ (平成17年2月末実績)			
組合員数	正組合員	2,787名	
	准組合員	24,740名	
	合 計	27,527名	
出 資 金 残 高		1,924百万円	
販 売 取 扱 高		70百万円	
生産資材供給高		49百万円	
給 油 所 供 給 高		170百万円	
生 活 供 給 高		31百万円	
貯 金 残 高		91,968百万円	
融 資 残 高		21,582百万円	
長期共済保有高		2,435億円	



神居
トビックス

▲神居支所稲作協議会総会の風景

高整粒米への取り組み強める 神居支所稲作協議会第二回総会

3月5日(土)、J
Aあさひかわ神居
支所稲作協議会は
農業センター(花菜
里ランド)において
第2回通常総会を
開催した。

増茂会長の開会
挨拶の後、川合部長、
普及センター国久
専門普及員より来

3月5日(土)、J
Aあさひかわ神居
支所稲作協議会
の廣瀬康行さんを議長に選出
し、平成16年度事業報告ならび
に平成17年度事業計画など、各
議案とも原案通り可決した。

近年、「食」の安全に対する
消費者の関心がますます高ま
っている。こうした社会の動向
を背景にして、協議会でも、消
費者に安心して食へてもらえ

が企画され、健康づく
りも兼ねた旅行とし
て評価が高かった。

総会終了後、午後
2時から懇親会が開
かれた。カラオケ大
会のほか、とてもき
れいな5人組の会員
さんの華麗な日本舞
踊も飛びだし、盛会
のうちに開催にな
った。

るクリーンな米の生産・提供を
いかに実現させるかに関心が
集まった。できるだけ農薬を減
らして、クリーン米を提供し、
消費者の食への安全・安心の期
待にどう応えるか、また、上川
ライスターミナルを有効に利用
して高整粒米にこだわること
の重要性も話し合われた。

また、気象の経過や16年産米
の反省点、クリーン米(12成分)、
高品質米生産向上に向けての
今年度の取り組みなど、国久専
門普及員よりお話をいただいた。

研修旅行・温泉湯治を継続 年金友の会通常総会を開催

神居支所年金友の会北原勲
会長、会員数282名は、2月
21日(土)午前11時より72名の
参加を得て、旭川パークホテル
において第18回通常総会を開
催した。

総会では、平成16年度事業報
告と収支決算報告、平成17年
度事業計画と収支予算につい
て審議し、原案通り可決した。

事業計画では、研修旅行と温泉
湯治が主要な事業で、今年度も
継続して行なうことになった。

この2つの行事は、会員も楽し
みにしており、毎回、多くの会
員が参加する。研修旅行は、道
外旅行も企画される。昨年度は、
九州方面への4泊5日の旅行

が企画され、健康づく
りも兼ねた旅行とし
て評価が高かった。

総会終了後、午後
2時から懇親会が開
かれた。カラオケ大
会のほか、とてもき
れいな5人組の会員
さんの華麗な日本舞
踊も飛びだし、盛会
のうちに開催にな
った。

▲神居支所年金友の会総会の風景